

9. 児頭骨盤不均衡	13
10. 常位胎盤早期剥離	9
11. 絨毛膜羊膜炎、子宮内感染	5
12. FGR	1
13. その他*	19
合計	453

*母体合併症と胎児形態異常を含む。

4. 分娩統計

詳細は総合周産期母子医療センター産科部門として報告する。

5. 2020年の目標・事業計画等

- 1) 医師全員の超音波検査技術の向上を図る
- 2) 周産期専門医の育成

4) 化学療法症例

なし

5) 放射線療法症例

なし

6) 悪性腫瘍の疾患別および臨床進行期別治療成績

なし

7) 死亡症例

母体死亡症例：0件

死産症例（妊娠22週以降）：10件

常位胎盤早期剥離：3件

胎児形態異常：2件

双胎：2件

子宮内感染：1件

原因不明：2件

8) その他の治療症例

なし

9) 主な処置・検査

羊水染色体検査

胎児超音波検査スクリーニング

当院にて健診を受けている妊婦全員に対して、妊娠18-22週、および28-30週の計2回実施している。

無侵襲的出生前遺伝学的検査（NIPT）

10) カンファランス

(1) 診療科内

入院中のすべての患者についての検討会が週1回実施されている。

(2) 他科との合同カンファランス

新生児集中治療部、小児外科との合同カンファランスが週1回実施されている。

(3) 他職種との合同カンファランス

毎朝、病棟責任医師もしくは病棟医長を中心に医師、助産師、看護師により、入院中のすべての患者について1日の方針の確認がなされている。